

# 筑波大学新聞

## 第214号

編集責任 筑波大学新聞  
編集委員会  
委員長 嶺 隆  
TEL(53)2040・2041  
月刊

発行所 筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

### 紙面から

大学院再編 生命環境科学研究科 (2面学内総合)  
拝見「学類誌」のいま (4面三特集)  
納涼 筑波の怖い怪談 (6・7面特集)  
関東インカレ陸上女子9年連続総合V (9面スポーツ)  
第27回宿舎祭あふれる熱気宿舎をつつむ (11面学生生活)

## 外部からの閲覧期待

### サークルの公式HPも検討

大学の公式ホームページ(HP)から三系と全代会の公式HPに今月四日、リンクがはられた。三系は、キャンパスライフの「課外活動」から、全代会は「学生組織」からとぶことができた。近く全代会のHPからスポーツ・サークルのHPへ、三系と全代会のHPへのリンクをはることも決定している。

三系と全代会の公式HPは、今春、大学の認定を受けて四月上旬に立ちあがっていたが、セキュリティ面、技術面での、さらなる準備のためにリンクは遅れていた。

管理運営の中心となっていたWebページ学生委員会委員長の齊藤学さん(社三三年)は「個々のサークルへ、永続的に使用可能なアカウントを供給することや、三系と全代会のHPから各サークルのリンクをはる話も検討されている」という。実現すれば、受験生が入学前に各サークルのHPを見るのが容易になり、サークル活動が活発になるなどのメリットも見込まれる。学生担当教官室、Webページ学生委員会、学術情報処理センターは共同で、できるだけ早い実現を目指している。

「サークルに大学の公式アカウント」という話は九八年の課外活動連絡会で議題に乗った。この時、三系と全代会の課外活動連絡会が議題に乗った。この時、三系と全代会の課外活動連絡会が議題に乗った。この時、三系と全代会の課外活動連絡会が議題に乗った。



美しく咲き乱れるクレマチス・マーゴット・コスターを見学する仲良し親子(筑波実験植物園・クレマチス展で)

## つくば歳時記

「サークルに大学の公式アカウント」という話は九八年の課外活動連絡会で議題に乗った。この時、三系と全代会の課外活動連絡会が議題に乗った。この時、三系と全代会の課外活動連絡会が議題に乗った。

## 違反に厳しい意見も

工基礎が駐車場アンケート

四十九人で、学類生の三・五%に相当する。

「駐車違反をなくすにはどうするか」という質問に対しては反対意見が多数を占め、ゲートが設置されても有料化には反対との声も目立った。

「駐車違反をなくすにはどうするか」という質問に対しては反対意見が多数を占め、ゲートが設置されても有料化には反対との声も目立った。



リンクがはられた体育会の公式HP

「駐車違反をなくすにはどうするか」という質問に対しては反対意見が多数を占め、ゲートが設置されても有料化には反対との声も目立った。

「駐車違反をなくすにはどうするか」という質問に対しては反対意見が多数を占め、ゲートが設置されても有料化には反対との声も目立った。

「駐車違反をなくすにはどうするか」という質問に対しては反対意見が多数を占め、ゲートが設置されても有料化には反対との声も目立った。



「駐車違反をなくすにはどうするか」という質問に対しては反対意見が多数を占め、ゲートが設置されても有料化には反対との声も目立った。

## 永久保存へ

「白川名譽教授が一九七九年に物質工学系助教として赴任以来、二十六年間使われてきたゆかりの研究室だ。

「白川名譽教授が一九七九年に物質工学系助教として赴任以来、二十六年間使われてきたゆかりの研究室だ。

「白川名譽教授が一九七九年に物質工学系助教として赴任以来、二十六年間使われてきたゆかりの研究室だ。

## 第27回 やどかり祭

第二十七回宿舎祭(やどかり祭)が六月一、二の両日、平砂駐車場中心に行われた。

「白川名譽教授が一九七九年に物質工学系助教として赴任以来、二十六年間使われてきたゆかりの研究室だ。

## 筑波おし

最近、健康に気をつけるようになった。塩分一日十グラム以下、野菜ジュース一日一本、ジャンクフード禁止を徹底するようにしたのだ。昨年、宿舎にいたころはかなり不規則な生活をしてきた。健康のことなど考えなかった。内線は使い放題だし、友達の家も近く、夜遅くまで遊んでしまった。おかげで一限に寝坊するどころか、テストも寝坊して、母親から「高校時代は毎朝六時に一人で起きていたのに」と嘆かれる始末だ。授業に出ても、なぜかいつも眠かった。大学はこんなものかと思ったりもした。初めての一人暮らしに張り切りすぎたのかもしれない。だが、アパートへ入居したことをきっかけに少しずつ生活を見直し始めた。健康を気遣いながら規則的な生活を心がけた。すると、少しずつではあるが落ち着きとゆとりのある生活ができるようになった。授業もつまらなくなってきた。もちろん、アパートに移れば良いのではなく、大切なのは自分の生活を冷静に見直すことである。

「白川名譽教授が一九七九年に物質工学系助教として赴任以来、二十六年間使われてきたゆかりの研究室だ。」

二学食堂  
リニューアル

# アンケートを実施

## 壁の色、席数に厳しい声も



テラス席は好評だ(二学食堂で)

「第二学群食堂リニューアル後の印象調査に関するアンケート調査」が四月二十七日、同食堂入り口で行われた。リニューアル後の二学食堂利用者の評価、要望を把握するために、社会学系の小場瀬令二研究室が行ったもので、配布した用紙百五十二枚のうち、百十二枚が回収された。今回の改修は、キャンパス・リニューアル・ワーキンググループ(委員長「富江伸治」・学生生活担当副委員長「藤野健太郎」)による計画の第一弾で、教員や学生が中心となって計画を進めたことが注目されていた。

アンケートの結果によると、好評だったのは新設されたテラス席やカウンター席などで、「好き・やや好き・普通」と答えた人が八〇％を超えた。しかし、「食欲を刺激するから」という理由でオレンジ色に塗り替えられた入り口の壁については、「嫌い・やや嫌い」という回答が五五％を超え、厳しい結果となった。座席数の不備を指摘する声も集中した。以前より割ほど減らし、三百席弱にして、「ゆったり感」を演出したが、「七人近くが、もっと考慮してほしい」と回答し、昼食時の混雑ぶりに改善が求められる形となった。小場瀬令二教授(社会学系)は、「テラスの増設で席数の問題は多少緩和されたと思うが、オレンジ色については今後の検討課題だ」と、渋い表情を見せた。同時に「アンケート結果では「二食」が一番多く、小場瀬研究室では「アンケートの結果による」と、好評だったのは新設されたテラス席やカウンター席など、と答えた人が八〇％を超えた。しかし、「食欲を刺激するから」という理由でオレンジ色に塗り替えられた入り口の壁については、「嫌い・やや嫌い」という回答が五五％を超え、厳しい結果となった。座席数の不備を指摘する声も集中した。以前より割ほど減らし、三百席弱にして、「ゆったり感」を演出したが、「七人近くが、もっと考慮してほしい」と回答し、昼食時の混雑ぶりに改善が求められる形となった。小場瀬令二教授(社会学系)は、「テラスの増設で席数の問題は多少緩和されたと思うが、オレンジ色については今後の検討課題だ」と、渋い表情を見せた。同時に「アンケート結果では「二食」が一番多く、小場瀬研究室では「アンケートの結果による」と、

## 「産業情報ネットワーク」設置 つくば市 学生にも参加呼びかけ

つくば市は四月一日、つくば市産業情報ネットワークを開設し、学生の参加を呼びかけている。このネットワークは、国立試験研究機関の独立行政法人化にあわせて、各研究機関とつくば市内の企業、中小商工会の連携をはかるためのもので、すでに約三百社が登録している。同様のネットワークは各地に設立されているが、つくば市は四月一日、つくば市産業情報ネットワークを開設し、学生の参加を呼びかけている。このネットワークは、国立試験研究機関の独立行政法人化にあわせて、各研究機関とつくば市内の企業、中小商工会の連携をはかるためのもので、すでに約三百社が登録している。同様のネットワークは各地に設立されているが、

## つくば市IT懇話会 本学生ら16人、市政に一役



つくば市は、行政サービスや市政のIT(情報技術)を活用する施策に学生のアイデアを反映させようと、本学学生を中心とした「IT懇話会」を発足させた。この会でまとめられた提案は市の「IT推進プラン」策定のために提示される。大学生が自治体のための委員になるのは全国的にも珍しいという。

市のITへの取り組みは、一九九九年に策定された「地域情報化基本構想」に基づいており、情報技術を活用し、便利で有意義なまちづくりを目指している。日頃ITに触れている大学生にアイデアを出してもらおうと、「型にはまらない柔軟な発想と、利用する立場の市民の声を取り入れる」と、企画部情報政策課という、学生に地域づくりに協力してもらうという仕組みもある。懇話会のコーディネーターを務める大澤義明助教(社会学系)は、「つくばは学生主体のまちで、今回は学生がま

# 大学院再編

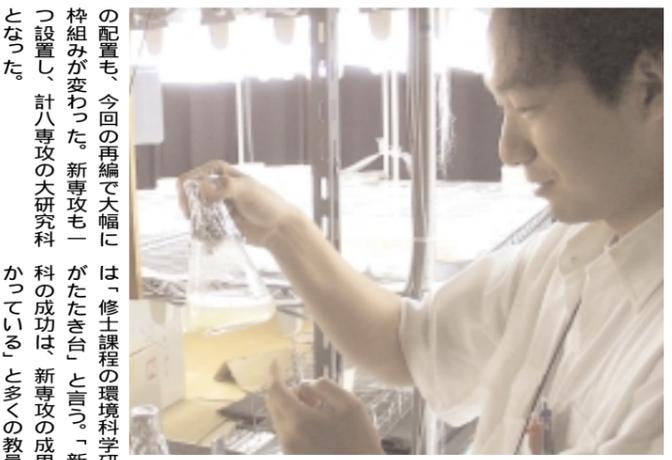
## 生命環境科学研究科

# 地球環境の解明に理・農動く

「日本ではない、世界全てがライバルだ。意識している大学院は？」という問いに対して、生命環境科学研究科長の梶原良道教授(地球科学系)は、力を込めてそう答えた。

昨年四月、生物学、農学、地球科学の三つの研究科を統合し、生命環境科学研究科が誕生した。梶原研究科長は再編の意図について、「環境問題や、食料・鉱物資源の枯渇といった問題を、統一的に考えることが、地球上で求められている。それには地球科学や生物学、農学が

力を含ませることが必要だ」と語る。この三領域が統合された大学院は非常にユニークだ。教員は統合をどう捉えているのだろうか。「一緒にいたメンバーは大きい、いい刺激となる」と小川勇二(地球進化科学専攻長(地球科学系教授))は述べる。井上勲(構造生物学専攻長(生物学系教授))も「一緒に会議をすることが、互いの分野の研究を知ることができると。安部征雄(国際地縁技術開発科学専攻長(農林工学系教授))は、「これからの



3領域の融合で先端研究に期待がかかる

研究は問題解決型。一つの領域に固執しては駄目だ。そのため統合して非常に良いと評価する。統合は概ね好評だ。しかし、この統合には伏線があった。旧農学研究科は、三年ほど前から、独自の改組を計画していた。木村富士男(陸域環境研究センター長(地球科学系教授))は、「平成五年から行われた地球環境変化特プロも、統合の一つの布石では」と指摘する。来年末には、新研究科の先陣を切って、七階建ての研究科棟が完成する。共同研究スペースやラウンジが多く配置されており、他分野の研究者との交流を重視した作りだ。

従来、三研究科の中にあった七つの専攻は、統合後全て名称を変えた。旧農学研究科の教員

の配置も、今回の再編で大幅に枠組みが変わった。新専攻も一つ設置し、計八専攻の大研究科となった。

新専攻の生命共存科学専攻は、人間と他の生物との関わりを軸に、環境問題の科学的解決策を模索する。昨年度専攻長だった藤井宏一教授(生物学系)は、

「修士課程の環境科学研究科の成功は、新専攻の成果にかかっている」と多くの教員は大きな期待を寄せている。

しかし、現専攻長の安仁屋政武教授(地球科学系)は、予想以上の多忙さを訴える。「新専攻では、繁雑な事務手続きに時

## 教職員ユニオン結成 委員長に今橋教授

筑波大学教職員ユニオンの結成大会が、五月三十一日午後、一三三三会議室で行われた。教員、技官、事務官ら三十五人が参加し、役員を選出、二〇〇一年度の活動方針などを決定した。

この日選出された四役は委員長「今橋盛勝(社会学系教授)」、副委員長「西田正規(歴史・人類学系教授)」、事務局長「松本聖子(研究協力部)」、副事務局長「田神一美(体育科学系助教授)の各氏

や研究所をつなげることを目指す。掲示板でほしい技術を集めたり、情報交換をすることも可能だ。

そのうち学生が利用できるものに、「つくば人材活用情報」がある。現在、雇用情報や職せる企業が増えつつあり、ここから就職につなげることも可能だ。また、市内でアルバイトを探している人も、今後、たつくば研究技術人材情報

募集情報が載るようになれば活用できる。個人単位で家庭教師などの募集することも可能なので、仲介手数料なしで家庭教師をすることも可能だ。サークルなら、「つくば」の企業と情報交換することも可能だ。

産業界ネットワークでの交流を促進させ、IT関連などのベンチャーを立ち上げる人々を支援する「つくば産業支援制度」を立ち上げる計画もあるという。

アドレスはhttp://agura.iba.ibuhda.nabak.jp



# そおしあ～る

## 突撃・体力系企画がウリ



「そしあ」のアジト(社会学類室)

通称「そしあ」。社会学類生なら誰でも知っている社会学類誌「そおしあ」は、社会学類誌が廃刊になつたり人手不足に苦しむなか、一九八一年の創刊から、バイタリティ溢れるものを発行し続け、現在、九十七号を数える。部員は十九人、発行は年四回。

第三号までは社会学類誌という誌名で発行されていた。当時、社会学類では女子学生が少なく、一人一人にインタビューをしたこともあった。全体としては、法律や経済をテーマにしたものが中心で、詩なども掲載されていた。しかし、九〇年代に入ると思想的なものが、現在、読者に人気がある突撃系、体力系の企画が多くなってきた。そんな中で、九五年から毎年のように続いているのがセインターブルを受けるという企画だ。母校が志望校になる。母がキヤッチフレーズに「社会学類に入学して、どれだけ学力が落ち、いかに受験勉強が無意味なものであるかを明らかにする」と続ける。読者は社会学類生のみならず、他学類の学生にも多い。そのため、字のうまい人が減っているのが、悩みの種という。最後にメンバーの一人、小関勇馬さん(社会学四年)は笑いながら「そしあは宗教ではないので、もっと遊びにきてください」と述べた。

かにする」ため、代々木ゼミナールの模試を受け、その結果を掲載し分析する。餃子を食べるために二十四時間かけて筑波から宇都宮まで歩いたり、山手線を舞台に、鬼ごっこや双六をする企画もあった。これらの企画が現在の「そしあ」の基礎にある。メンバーの一人、今井梨絵さん(社会学四年)は、「そしあ」の企画について、自分がある種のネタとしてさらけ出すもので、身を削って作るものだ」という。だが、「企画から印刷まで全て手作りので、完成した時の満足感が高く、一度作つたらやめられないものになる」ともいっている。さらに、「作らなげや」という気持ちからではなく、作ろうという気持ちから作っているところがある。約二十年間も続いている理由だ」と続ける。読者は社会学類生のみならず、他学類の学生にも多い。そのため、字のうまい人が減っているのが、悩みの種という。最後にメンバーの一人、小関勇馬さん(社会学四年)は笑いながら「そしあは宗教ではないので、もっと遊びにきてください」と述べた。

# WORD

## 全てデジタルで処理



「WORD」はここで生まれる(情報学類室)

「WORD」の発行部数、五百二十部。なんと中途半端な数字である。その理由を編集長の窪田竜太さん(情報学三年)は、「二の九乗だから」という。コンピュータの仕組みを知る人ならすぐわかる数字だが、そうでない人には全くわからない。情報学類誌らしい数字である。創刊は二十年以上前になるが、編集部員の減少により一度は廃刊に追い込まれた。しかし、五年前に長田敏之さん(情報四年)を中心に復刊し、現在では情報学類生を中心に、芸術、エシスなどの学生も含め、三十九人の部員が在る。誌面は主に特集、連載、一

「WORD」の発行部数、五百二十部。なんと中途半端な数字である。その理由を編集長の窪田竜太さん(情報学三年)は、「二の九乗だから」という。コンピュータの仕組みを知る人ならすぐわかる数字だが、そうでない人には全くわからない。情報学類誌らしい数字である。創刊は二十年以上前になるが、編集部員の減少により一度は廃刊に追い込まれた。しかし、五年前に長田敏之さん(情報四年)を中心に復刊し、現在では情報学類生を中心に、芸術、エシスなどの学生も含め、三十九人の部員が在る。誌面は主に特集、連載、一

# 拝見「学類誌」のいま

## のーのーりんりん

### 部員の若返り目指す

今年四月、生物資源学類の学類誌「のーのーりんりん」三十九号が発行された。一年半ぶりの復刊である。現在、編集委員は四人、うち院生が三人と高齢化がすすむ。院生は研究が忙しくて、時間がとりにくい。そのため、週一回集まって、集中的に作り直したい。生物資源学類の学類誌「のーのーりんりん」は八一年、「農林学類誌」としてスタートした。はじめは教員と学生の間のクラス連絡会の報告集として始まり、新歓の会計報告など、学類生全体に情報を提供してきた。その後「のーのーりんりん」と名前を変えた。一度廃刊されたが、六年前に復活し、今に至っている。九九年に発行された前号はウェブ版でしか発行されず、冊子が作られなかったが、もう一度、学類誌の地位を取り戻したい。現在は学生だけで作っているが、過去には教員の文章も多々あった。もう一度、そういう形にしたい。

「のーのーりんりん」は八一年、「農林学類誌」としてスタートした。はじめは教員と学生の間のクラス連絡会の報告集として始まり、新歓の会計報告など、学類生全体に情報を提供してきた。その後「のーのーりんりん」と名前を変えた。一度廃刊されたが、六年前に復活し、今に至っている。九九年に発行された前号はウェブ版でしか発行されず、冊子が作られなかったが、もう一度、学類誌の地位を取り戻したい。現在は学生だけで作っているが、過去には教員の文章も多々あった。もう一度、そういう形にしたい。



過去のバックナンバーの一部

# ナチュレ!

## 学類の情報交換手助け

「社会学類誌『そおしあ』をフジテレビに例えたら、ナチュレ!。しかし、友達との絆を超えた情報交換の媒体である学類誌がなくなつてくれ!」の編集長を務めている龍徹さん(自然二年)は、龍徹さん(自然二年)は、五月二十三日に復刊を遂げた「ナチュレ!」が目指しているのは「真面目な知識・情報の提供」だ。「自然学類全体のコミュニケーションの助けとなれば」とされた「自然学類誌」にさかされた「ナチュレ!」の四誌。四誌はそれぞれ、独自の内容を工夫し、「学類の顔」的な存在だ。久しぶり発行されたものもあれば、一度廃刊されて復活したものなど、それぞれ異なる事情を抱えている。「学類誌」の魅力と苦労を探った。(本紙・藤井隆宏「社会学類、角田英政「社会学類、風間悠三」比較化学類)

休刊となつていた自然学類誌「ナチュレ!」は、佐々木建昭教授(数学系)は「軟が多くて硬が少なかったのが物足りなかつたが、学生はよくやってくれていた。復刊したとなれば、ぜひ続けてほしい」とエールを送る。自然学類誌の歴史は、廃刊、復刊の連続だった。その源流は、「自然学類の声の広場を創る」と一九七七年に創刊された「自然学類誌」にさかされた「ナチュレ!」(一九九一年創刊)と「ナチュレ!」(一九九九年創刊)と自然学類誌は次々と変貌を遂げてきた。



復刊した「ナチュレ!」と龍徹さん

との闘争日記まで、自然学類ならではの、バラエティーに富んだ内容だ。龍さんは「自然学類の先生や学類活動の紹介など、もっと学類に密着したものにしていきたい」と話す。一方で、「取材したりみんなをまとめるのが大変」とは違った難しさがあり、勉強と苦しい一面もぞかせた。「工程がわかつたので、これからは企画モノにもチャレンジしていきたい」と意欲を見せる龍さん。廃刊、復刊を繰り返している自然学類誌だけに、今回は未永く続くことを願う。

# 消えた学類誌

## 「南大門」「など」7誌 中央図書館で一部保存

学類誌には学類の個性の一部にすぎない。その中から、今回は今紹介し「そおしあ」は他誌に比べバックナンバーが豊富に揃えられており、製本のほると数多くの学類誌が保存されている。発行されていた。廃刊となつたものも含め、学類誌のバックナンバーの一部が、中央図書館の本学関係資料室に残されている。唯一「人文日報」ではバックナンバーが見ることができ、資料室で見ることができ、バックナンバーは、廃刊されたものには、人文の「や、サバイバル自炊講座」「人文日報」Mononといった、現在の学類誌(隔々)、生物の「ヒポボタマス」、自然の「自然学類誌」(六十号から)、「ツクナンパー」のほとんどは、一九八〇年代から九〇年代にかけての学類誌だ。本学の歴史を垣間見ることができ、

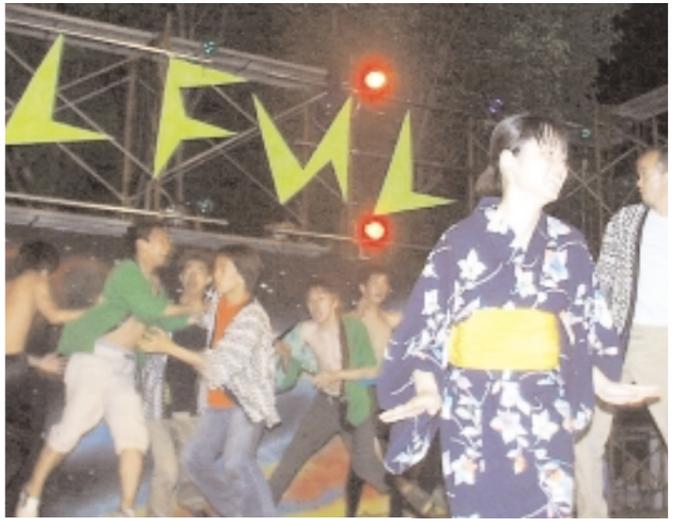


Photo by chimatsurimakure



まつりまもれ! やどかり委員!!

# 筑波時評

五月十九日、代理出産が日本で行われていたことが公表された。日本では、日本産婦人科学会が自主規制をしているが、代理出産を規制する法律はない。しかし、昨年十二月に厚生科学審議会の専門委員会(旧厚生省)は、『精子・卵子・胚の提供等による生殖補助医療のあり方』についての報告書において、「人を専ら生殖の手段として扱ってはならない」という生殖補助医療に対する基本的な考え方に対する理由から代理出産を禁止することとし、さらに三年以内に罰則を伴う法律で規制することが望まれるとした。このような社会状況の中で、敢えて代理出産によって自分の子を持つこととする意味は何なのであろうか。

多くの人は、子どもを持つという行為は、自然な社会で、いざれば自分も子どもを産み育てることを漠然と考えてきた女性にとって、子どもを持つことが難しいとわかったときのショックは特別なものである。自分自身の存在がゆがめられ、不完全さを感じ喪失感を持つ。子どもを持つことと人生における意味が大きく、「血のつながり」へのこだわりが、極少数である。

## 代理母出産「血のつながりへのこだわり」究極の選択にどう心えるか



村井 文江

たに妊娠し、結婚する人も少なくない。また、自分が子どもを持っていないことを確認するための戦いが始まる。解決を不妊治療に求める人もいれば、自身の価値観の転換を図る人もいる。どちらもその人としての生き方である。代理出産を選択する女性

たに妊娠し、結婚する人も少なくない。また、自分が子どもを持っていないことを確認するための戦いが始まる。解決を不妊治療に求める人もいれば、自身の価値観の転換を図る人もいる。どちらもその人としての生き方である。代理出産を選択する女性

たに妊娠し、結婚する人も少なくない。また、自分が子どもを持っていないことを確認するための戦いが始まる。解決を不妊治療に求める人もいれば、自身の価値観の転換を図る人もいる。どちらもその人としての生き方である。代理出産を選択する女性

たに妊娠し、結婚する人も少なくない。また、自分が子どもを持っていないことを確認するための戦いが始まる。解決を不妊治療に求める人もいれば、自身の価値観の転換を図る人もいる。どちらもその人としての生き方である。代理出産を選択する女性

たに妊娠し、結婚する人も少なくない。また、自分が子どもを持っていないことを確認するための戦いが始まる。解決を不妊治療に求める人もいれば、自身の価値観の転換を図る人もいる。どちらもその人としての生き方である。代理出産を選択する女性

## ネット生活情報提供を

伊藤健一(社工3年)

私たちは、今年二月に「シー・フォー」というサークルを設立しました。私たちが目指しているものは、つくはの活性化、そしてつくはから二十一世紀のモデルを生み出すことです。

私たちは、数年間、不妊治療が幸せや自己実現とするなど、子ども一人の人間として育てていくことを見守り、支援することは、代理出産を

私たちは、数年間、不妊治療が幸せや自己実現とするなど、子ども一人の人間として育てていくことを見守り、支援することは、代理出産を

私たちは、数年間、不妊治療が幸せや自己実現とするなど、子ども一人の人間として育てていくことを見守り、支援することは、代理出産を

私たちは、数年間、不妊治療が幸せや自己実現とするなど、子ども一人の人間として育てていくことを見守り、支援することは、代理出産を

私たちは、数年間、不妊治療が幸せや自己実現とするなど、子ども一人の人間として育てていくことを見守り、支援することは、代理出産を

## 反射鏡

ツクナビ設立

ツクナビ設立



ツクナビは、ベンチャー勉強会や、インカレ、ボランティア活動などの告知のほか、グループ・ショッピング・車などの生活情報なども提供し、学生の生活に刺激を与える情報を提供できるサイトを目指しています。

ツクナビは、ベンチャー勉強会や、インカレ、ボランティア活動などの告知のほか、グループ・ショッピング・車などの生活情報なども提供し、学生の生活に刺激を与える情報を提供できるサイトを目指しています。

ツクナビは、ベンチャー勉強会や、インカレ、ボランティア活動などの告知のほか、グループ・ショッピング・車などの生活情報なども提供し、学生の生活に刺激を与える情報を提供できるサイトを目指しています。

## 附属学校

### 周辺施設との連携探れ

野口剛(教育研究科1年)

私は昭和四十九年この大学に第一期生として入学しました。そして今年、筑波大学附属高校から現職教員の身分のまま派遣されて修士一年として勉強しています。

この間の筑波の変貌は文字どおり隔世の感があります。平砂宿舎西側の木々は鬱蒼とした大木となり、車も建物も驚くほど増えました。

その一方で、ほとんど変わっていないと思うこともありますが、その一つが筑波の土地の孤立性です。ここでは東京とは異なる感覚が感じられます。そして、週末に筑波から外に出ないと生活はほとんどここで完結してしまいがちです。

この間は学生と研究者以外に多様な職種の人間がほとんどいません。かつてイギリスの科学雑誌「ネイチャー」は学園都市の問題点として東京から遠いことをあげました。こうした開学以来の課題は常盤道が開通し、直行バスが走る今も根本的には変わっていないように思います。

ところで、かつての東京教育大学跡には学校教育部と夜間大学院があり、東京・千葉・埼玉には十の附属学校があります。世間にはこれらの学校は「エリート」養成をやっているとか、普通の学校には応用できない特別な教育がやっていると誤解が広がっています。

## あなたも投稿してみませんか?

本紙では読者の皆様からの投稿を常時募集しています。駐車場問題や宿舍生活に関する意見から、学類・サークルのニュースまで、なんでも奮って投稿して下さい。

本紙編集室：共同研究棟A-104 53-6699 FAX53-6570 e-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

総務部広報調査課：本部棟8階 53-2040 FAX53-2014

星を見る少女

男が見た真実は...

秋の肌寒い夜のことだ。男の一日の疲れを癒して...



蒸し暑い季節。涼を求めて窓を開け放つこの時期...

筑波の怖い怪談



との接触が無かった彼は、少和感をもった彼は、向かいの...

ナイフ男

ベッド下に潜む恐怖

宿舎に新入生が入居して間、宿舎に着いて友人を部屋に案内...

研究者「筑波と怪談」語る

「なぜ、つくばで怪談や都市伝説が生まれるのか、つくばの怪談の特徴はどこにあるのか...」

メディア文化論

なぜ、つくばで怪談や都市伝説が生まれるのか、つくばの特徴はどこにあるのか...



無機質な土地に意味付け

山梨県の樹海も中央線に沿って家庭と職場の狭間にあり...

社会心理学

なぜつくばに怪談や都市伝説が生まれるのか、また、つくばの話の特徴というものはあるか。

民俗学

手を怖がらせるだけで人を傷つけたら失礼に当たるようなことはなく話しやすい...

コミュニケーションの手段に

松井豊助教授(心理学系)

すのではないだろうか。一年生への心配や注意喚起の意味もあるだろう。

「険しい雰囲気」一因に

古家信平教授(歴史・人類学系)

「無駄な場所」もない。これは、つくばに元々人が住んでいなかったということもあるだろう。だからとて...

人面犬

「ほっといてくれよ」

授業後の夕方、Aさんは本学構内からゆりのき通りのバス停に向かっている。薄暗い道は人影もなく、宿舎風呂が混む前に帰ろうと少し早足になっていた。目の前にはいつも見かける茶色のつくば犬が歩いている。その時、どこからともなく声が聞こえた。

体専幽霊

「ゴール!」で成仏

「今、何時だ」Aさんが時計に目をやる。「五時半だろ」あれ、誰もいなかったはずなのに。と思って時計から発作を起こして「くっ」顔を上げると、つくば犬がくると振り向いた。その顔は人間の顔だった。Aさんが驚きのあまり声にならない声を出している。「ほっといてくれよ」の捨てぜりふを残してどこどこと走っていった。



生ぬく(べ)

平砂2号棟

建設中に事故相次ぐ?

平砂宿舎には二号棟がなくなり、二号棟は呪われていた。二号棟を建てようとする途中、作業員が原因不明のケガをしたり、亡くなるという事故が相次いだ。その後何度かおぼろげにされたが、全く効き目がなく、結局二号棟は建設を断念しなければならなくなった。

第二学群F棟

10階から外を見るな

一九八〇年代、三学F棟から飛び降りる人が多く、自殺にはまだまだ工事中の建物が多く、工事関係者が辺りを歩いていることも不思議なことではなかった。そんなある日、当時二号棟(現非常動講師棟)の建設に従事していた一人の作業員が、女子学生の頭をハンマーで殴るといふ事件が起こった。実際は怪我だけで済んだのだが、女性は亡くなった。

公衆トイレ

女性が消えたのはなぜ

今から十年以上前のこと。若い女性がつくばセンターを歩いていた。ショッピングモールにさしかかったところ、何者かが彼女を公衆トイレに引きずり込んだ。力一杯あがったが、男の力にはかなわず暴行されてしまう。犯人は外国人で他にも多数の女性が犠牲となった。女性たちは怒って警察に被害を訴えた。



筑波の妙な噂

松美池の底からミサイルが発射される。大学に関する噂はユーモラスなものも多く、噂と噂よりはジョークに近い。松美池の鯉を食べると除穢。平砂 号棟のキザギザのブロックは合体して巨大ロボットになる。松美池の底には第四学群が存在し、非人間学類、反社会学類、超自然学類、保健体育専門学群がある。



29 ミサイル栄養学

私たちは日頃、物を食べるタイミングをあまり意識しないが、栄養効果は食べるタイミングと想像以上に深い関係がある。肥満の研究で知られる鈴木正成教授(体育科学系)は、生活リズムのどのタイミングで栄養

食事のタイミング探る 間食と運動で老化予防

糖分を摂取するのが効果的かという新視点から研究に取り組んでいる。名付けて「タイミング栄養学」。糖分と肥満との間に強い関係があることは常識だが、鈴木教授によれば「砂糖を摂取するタイミングが関係する」という。砂糖は消化されてぶどう糖と果糖になる。同時に「糖からインシュリンが分泌される。それを受けて肝臓が脂肪の合成と血中への放出を盛んにする。この活動は、朝方よりも夜の方が

後に摂ることで、トレーニング後の筋肉のダメージを修復し、さらに増強を促進することが明らかになっていく。現在、鈴木教授は「タイミング栄養学」を進展させた「ミサイル栄養学」の研究に取り組んでいる。老化予防に効果的な栄養摂取のタイミングを調べる研究で、日本体育協会の新プロジェクトでもある。研究室ではラットにグルコルチコイドという老化剤を与え、金網のタワーに水飲みのために登らせるといふ実験が行われている。ラットは一日に二食与えて運動させる群と、その二食と同じカロリーになることを計算して間食を一度とらせる群

(与える時間も研究中)に分けられたが、後者のほうが筋肉、骨ともに弱くなっていたというデータが得られている。つまり、おやつを摂って運動することで老化を防げるのではという考えだ。鈴木教授は、そのメカニズムを「小腸、肝臓には間食の時点ですでにたんぱく質は十分あり、これが心臓まで運ばれ、筋肉、骨にとけられるから」と説明する。栄養摂取の、最も効果的なタイミングを探るところから「ミサイル栄養学」と呼ばれるが、研究はこれから本格的に取り組まれる。

鈴木教授は「ミサイル栄養学」を通じて老化や寝たきりを防ぐ、筋肉増量を中心とした「健康づくり」に貢献したいという。(本紙・天野佳代子「社会学類」)



研究生の身長よりも高い、ラットの実験用水飲みタワー

活発に活動するため「夜に甘いものを摂ると太る」のである。スポーツの世界では「トレーニング後、三十分以内」に食事をとれと言われる。これらもタイミングをふまえたスポーツ栄養マネージメントの考えである。たんばく質と炭水化物を運動の直

に摂ることで、トレーニング後の筋肉のダメージを修復し、さらに増強を促進することが明らかになっていく。現在、鈴木教授は「タイミング栄養学」を進展させた「ミサイル栄養学」の研究に取り組んでいる。老化予防に効果的な栄養摂取のタイミングを調べる研究で、日本体育協会の新プロジェクトでもある。研究室ではラットにグルコルチコイドという老化剤を与え、金網のタワーに水飲みのために登らせるといふ実験が行われている。ラットは一日に二食与えて運動させる群と、その二食と同じカロリーになることを計算して間食を一度とらせる群

「と」と言われている。また、集団自殺があったために取り壊されたという説もある。(五、六年前の本学在学者の話、現在も飲み会で語り継がれている。荒俣宏「日本妖怪巡礼団」)



卒業生からの手紙

一九九三年にリーグが誕生。今年から「サッカー」が実施され、来年には日本と韓国の共同開催ワールドカップが行われます。このように、二十年弱で「サッカー」というスポーツは、着実に日本社会に根づいてきています。現在でこそメディアがサッカーを大きく扱うようになりましたが、私はブームになる前から、仲の良い友達が入るからという軽い気持ちで小学校四年生にサッカーを始めました。しかし中学に進んでサッカーの虜となり、毎日五時間くらいはボールを蹴っていました。当時はプロサッカーもなく具体的な目標もありませんでしたが、とにかくサッカーをやるのが楽しくて、そして高校でも同じような調子でサッカーをやっ

サッカー指導通して知る「筑波ブランド」の功罪

サッカーコーチの 八木 邦靖 さん。その後大学を卒業し、公立高校で4年間教職についた後、筑波大に戻り修士課程でコーチ学を専攻、つくば国際大学の研究助手を経て平成八年に鹿島アントラーズFCのコーチに就任しました。そして、今年月水戸慶陵高等学校の保健体育の教員として赴任し、サッカー部の監督として指導にあたっています。このように職はさまざまですが、大学を卒業してから一貫してサッカーの指導で経験しました。筑波は研究、学習をするには日本有数の環境であり、身の回りに吸収できるものが本当にたくさん落ちています。ただし、それをどうやって自分の中に取り込み財産としていくのか、またそれをいかに社会に出して生かしていくのかが重要です。漠然と時を過ごしては、このことに気づかないで毎日時間が過ぎていきます。皆さんも時間を無駄にしないで、学生生活を送ってください。(昭和六十二年度体育専門学群卒、平成五年度体育研究科コーチ学専攻修了、水戸慶陵高校サッカー部監督)



高校のサッカー部員たちと(写真中央)

# AC主催 シンポジウム開催 「学力観」の変化話し合う

アドミッションセンター主催のシンポジウム「学力観と入学者選抜方法」が五月十一日午後、大学会館国際会議室で開催された。

今回のシンポジウムは、同センターが昨年十月、各教育組織を対象に実施した、入試改善に関するアンケートの結果を受けて開催された。

果を受けて開催されたもので、同センターがこのようにシンポジウムを行うのは今回が初めて。

シンポジウムには、教職員や学生など、学内からの五十人と、県内の高校教員七人の、合わせて五十九人が参加し、本学における入試の改善やその前提となる「学力観」について話し合った。

最初に、センター長の嶋島南教授(文芸・言語学系)が、入試科目の削減に伴い高校レベルの科目を削減する大学が増えている現状を、「問題提起」というかたちで紹介した。

続いて、国立教育政策研究所客員研究員、元本学教育学系教授の山口満氏が、「学力と学力問題」というテーマで基調講演を行った。山口氏は、「学力」をどう捉えるかに



基調講演を行う山口満氏

生じる問題について説明した。さらに、国の学習指導要領の編成に携わった経験から「現在の『観点別学習状況』の評価に見られる学力構造」が、知識・理解を中心とした学力観から、自ら学び、考える力を重視する機能的な学力観へ変化した」と述べた。

次に、事例報告とパネルディスカッションが行われた。

最後に嶋島センター長が「総括と展望」を行い、今回のシンポジウムは終了した。

アドミッションセンターの渡邊公夫教授(数学系)は今回のシンポジウムについて「学力観や入試が多様なもの

った。

最後に嶋島センター長が「総括と展望」を行い、今回のシンポジウムは終了した。

アドミッションセンターの渡邊公夫教授(数学系)は今回のシンポジウムについて「学力観や入試が多様なもの

部員から、スケートを愛する部員まで、さまざまな部員がいる。

過去には、長野五輪金メダリスト、清水宏保選手のコーチを務める結城啓彦さん(第一期生)や、一九九九年に橋本聖子選手の連勝記録を止めた結城智恵子さん(第十三期生、旧姓依田)がスピード部門に在籍していた。

二十五年度実行委員の学生代表、木下きよこさん(平成十二年度比文卒)は、「香村先生への感謝の気持ちを込めて作った。世界的な実績を残していることが分かってもらえると思う。現役の新谷志保美選手(体育四年)に注目してもらえれば」と話している。

「私の一冊」に登場する本に期待される条件は、評者の専門における古典的あるいは隠れた名著であり、評者の人生の岐路において多大な影響を与えた、というのではないかと推測する。

残念ながら本書は、のどちらにも該当しない。題名から判断するように若き医学研究者の書いた実用的ハウツー書である。それで本書をここで紹介したのは、研究というのに対して著者の考え方・アプローチに私が一〇〇%共感を覚え、筑波大学生諸君ともそれを分かち合いたいと思ったからである。

大学などのアカデミック

## 研究の楽しさを具体的に 理系のための研究生活ガイド

坪田一男 著

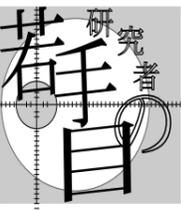
な世界だけでなく、およそ知的な創造に携わるホワイトカラー(本学学生の就職先はすべからずこの範囲に属する筈である)にとって、自分が成し遂げた成果をまとめ発表するというのは大きなウエイトを占めるのが普通である。

本書は「研究は楽しい」というポリシーの下、いかにしてその楽しさを見つけて、大きくしていくかというところを精神論に陥らず具体的なノウハウの形で提示している。ほんの一例を挙げれば「研究テーマの選び方」の原則、「コミュニケーション能力の磨き方」、「ゼミは指導教授の手柄で選ぶ」など。

もちろん著者は医者であるから、医学研究、医学論文の書き方に関するノウハウである。しかしその考え方・姿勢はその分野を指す人にも大いに応用できるものである。

何よりも本書を読めば、楽しい気分になり、「これなら僕にもできるかも」という気持ちになれるのが良い。(講談社ブルーバックス・七六〇円)

(社会学系助教授)



研究 著者  
自  
私本人の専門は十七世紀イングランド文学(特に演劇)である。シエクスピアの作品に頻りに登場する、男の子に変装する女の子(「十二夜」のヴァイオラなど)というモチーフからヒントを得て、「現代文化論」では少女まんがに登場する、男の子に変装する少女たちについて考えてみた。

「しばんの騎士」のサブタイトル「女は王になれない」という国のために、王子として生きている。生物学上の性(セックス)が女であっても、彼女は立派に王子の役割(ジェンダー

役割)を果たしている。ジェンダーなんて衣装を着替えるように取り替え可能なコスプレ、ロール・プレイングに過ぎないことをしめして、ジェンダーの境界線を軽やかに逸脱しているか

に見える。

だがしかし、彼女は自分

振られたジェンダーに違和感を持つ人(トランスジェンダー)ではないといふことになる。

さらにはこの悪いことに、プロットの途中の段階では、男の子の服を着ることで通常であれば女の子に許されないであろうような自由を享受し、ジェンダーの境界線をかく乱して

はすの性器ですら、コンタクト・レンズやピアスなみに着たり外したり交換したりできる人工的身体部分なのだ。しかしこのミリちゃんですら、ヒカルへの異性愛のために、身体とジェンダーは一致すべきであるという

はすの性器ですら、コンタクト・レンズやピアスなみに着たり外したり交換したりできる人工的身体部分なのだ。しかしこのミリちゃんですら、ヒカルへの異性愛のために、身体とジェンダーは一致すべきであるという

# 少女マンガが刷り込む ジェンダー・イデオロギー



吉原 ゆかり

結局のところ、少女まんがとは、少女たち

り、できうることであれば女の子として暮らしたいという願望が強い。なにが「女らしい」ことであり、なにが「男らしい」ことであるかについての意識のな

り、できうることであれば女の子として暮らしたいという願望が強い。なにが「女らしい」ことであり、なにが「男らしい」ことであるかについての意識のな

り、できうることであれば女の子として暮らしたいという願望が強い。なにが「女らしい」ことであり、なにが「男らしい」ことであるかについての意識のな

り、できうることであれば女の子として暮らしたいという願望が強い。なにが「女らしい」ことであり、なにが「男らしい」ことであるかについての意識のな

り、できうることであれば女の子として暮らしたいという願望が強い。なにが「女らしい」ことであり、なにが「男らしい」ことであるかについての意識のな

1	チーズはどこへ消えた? スパンサー・ジョンソン他/扶桑社
2	模倣犯(上・下) 宮部みゆき/小学館
3	なぜ生きる 高森顕徹/1万年堂出版
4	ほくが読んだ面白い本・ダメな本 立花隆/文芸春秋
5	光にむかって100の花束 高森顕徹/1万年堂出版
6	黒祠の島 小野不由美/祥伝社
7	だれが「本」を殺すのか 佐野真一/プレジデント社
8	鯨の笑く海 内田康夫/祥伝社
9	ハリウッドと賢者の石 J・K・ローリング/静山社
10	あなたはひとりじゃない 大平光代/光文社

ユース・エンディング・ハンガー茨城支部主催  
**チャリティーコンサート**

日時: 6月15日(金)  
開場 18:30 開演 18:45

場所: 2C107教室

料金: 300円(チケット代)

出演: Doo-wop 吹奏楽団  
フォルクローレ愛好会  
ジャズ愛好会

連絡先: hanaton@mail.goo.ne.jp  
090-8341-4777(埼)

新刊ラインナップ  
広告大募集

本紙への広告掲載を希望される方は、出版する本の題名と内容の紹介文、著者及び出版社名、値段を本誌までお知らせください。連絡先は5面参照。

本学教員新刊  
ラインナップ

『手形法・小切手法入門』  
鈴木手形学説の第三世代による  
手形法・小切手法の入門書  
大野正道 著(社会学系教授)  
信山社/2860円

# 関東インカレ陸上 女子9年連続総合V



白熱した女子400メートルリレー(横浜国際総合競技場で)

## 5種目で大会新出す

陸上の関東学生対校選手権(関東インカレ)が、5月13日(関東インカレ)が、5月13日と18日から20日まで、横浜国際総合競技場で行われた。見せ、男子は総合2位、女子は9年連続11度目の総合優勝を果した。

陸上の関東学生対校選手権(関東インカレ)が、5月13日と18日から20日まで、横浜国際総合競技場で行われた。見せ、男子は総合2位、女子は9年連続11度目の総合優勝を果した。

尾藤賢監督(体育科学系助教)は「女子は総合優勝できると思っていた。それぞれ、力を出し切った。男子は総合4位くらいだと思っていたが、初日にハンマー投げで西藤君

白熱した女子400メートルリレー(横浜国際総合競技場で) 各種目1位の選手と総合得点は次の通り。男子一部 800メートル 柴田賢二(体育4年) 1分51秒12 走り幅跳び 渡辺容史(同3年) 7メートル76・追い風 参考 三段跳び 渡辺容史(同16メートル67・大会新) 棒高跳び 木越清信(体育科学研究科1年) 5メートル40 ハンマー投げ 西藤高志(体育4年) 60メートル81 総合得点111・5 2位(1位) 東海大1 30・5、3位 日大1 1(1) 女子 100メートルハードル 100メートルハードル

# 春季リーグ情報

## ハンドボール

女子 関東春季リーグで本学女子ハンド部は、全勝で7シーズン連続13回目の優勝を飾った。

## 無敵の13連覇

最優秀選手賞には昨年優秀選手賞をとった早稲田選手(体育4年)が輝いた。最優秀賞よりも最上級生になって初めて優勝がうれしかった。誰かが頼るのではなくチーム全体の協力が優勝に結びついたと思

また、優秀選手には、ゴールキーパーの安達多華美選手(体育4年)、コートのレイヤーの原田恵選手(同4年)、森本美奈子選手(同4年)が選ばれた。この他、太田智子選手(同2年)が優秀新人賞に選ばれた。

## 野球

男子 男子1部の本学男子ハンド部は、1勝5敗で7校中6位に終わった。キャプテンの浜口朋幸選手(体育4年)は「決めるべき時にシュートを打てず、そこにまだ力の足りなさを感じた」と試合を振り返る。

首都大学野球の春季リーグが5月27日に終了し、東海大が5季連続46回目の優勝を果たした。本学は今季、一時期首位に立ったが、結局は3位に終わった。この結果について、マネージャーの石飛守さん(人文4年)は「悔しいという気持ちはあるが、上出来だと思っ。勝ち始めてからはノエラーで、よく守った」



ベストナインに選ばれた江尻浩介選手(対日体大戦で)

また、ベストナインに、本学からは中嶋勇喜選手(体育4年、二塁手)、江尻浩介選手(体育3年、三塁手)、松本伸治選手(体育3年、遊撃手)の3人が共に初めて選出された。

今季リーグ全体について、石飛さんは「オープン戦不調だった濱田洋平投手(体育0 対日体大2 0 対東大2 0 対西大2 0 対東大2 0)と話し

## サッカー 関東大学リーグ 意外な不振、3位に

第75回関東大学サッカーリーグの前期日程が4月14日に始まり、本学は5月13日現在、1試合を残して2勝1敗3分の合計で優勝が決まるので、チーム力をあげていきたい」と話している。

結果は次の通り。筑大1 2青学大 筑大4 0慶大 筑大1 1駒大 筑大0 0順大 筑大3 0国士大 筑大1 1中大

## 関東女子学生剣道選手権 興行対決、今年は「妹」

第33回関東女子学生剣道選手権大会が5月19日、東京武道館で行われた。決勝戦は昨年と同じ本学勢の姉妹対決となり、興行(こうぎ)舞選手(体育2年)が、昨年優勝した姉のあゆみ選手(同4年)を破って、初優勝した。

舞選手は「優勝という結果はよかったが、内容には満足していない。もっといろんな技を使えるようになりたい」と大会を振り返った。あゆみ選手は「大会前は昨年の優勝というプレッシャーがあったが、意識せず思い切ったところがあった。結果はうれしい」と語り、7月1日に大阪で行われる全日本学生剣道選手権大会にむけて、「最後の大会なので後悔しないよう頑張りたい」と抱負を語った。舞選手

も「昨年より一つでも多く試合ができれば」と話す。同選手権は今大会の上位28人に出場権が与えられる。本学からは他に、杉本早恵選手、小野敦子選手(体育3年)吉田麻理子選手(同2年)が男子の部には、5月13日に日本武道館で行われた第47回関東学生剣道選手権大会で上位の成績を収めた鳴本敬一郎選手(医学4年)小村健選手(体育3年)大重武史選手(同2年)が出場する。

第3回東アジア大会が、5月19日から27日までの9日間、大阪市内の各会場を中心に開催され、全15種目で熱戦が繰り広げられた。本学からは5選手が出場した。結果は次の通り。柔道 男子73キロ級 金丸

3年ぶりの快挙 水球3位に 水球の日本選手権が、5月10日から13日まで神奈川県相模原市立総合水泳場で行われた。本学は一年間スペインに留学していた青柳勲選手(体育3年)の活躍もあり、3年ぶりに3位入賞を果たした。

# スポーティ

## 蹴球部 安藤 梢選手(体育1年)



## 女子サッカー界のホープ 夢は米プロリーグへ

細身で引き締まった体に活発そうな顔つき。くるんとした大きな目にまだあとけなさが残る。安藤梢さん(体育1年)は宇都宮女子高校時代、日本代表として二つの世界大会に出場した女子サッカー界の若きホープだ。1999年、アメリカで行われたワールドカップではFWとして対ノルウェー戦に途中出場し、昨年オーストラリアで開催されたパシフィックカップでは初スタメン出場を果たした。日本チームの成績は2敗1引き分け(W杯)、1

勝4敗(パ杯)だった。「チームメイトは年上の人がかりでレベルが高く、自己管理や意識の高さなど勉強になりました」という安藤さんにとって、二つの大会は大きなステップとなった。特に、スタメン出場したパシフィックカップでの出来事は忘れられない。滞在先の水テールのエレベーターで3位となった。

上レベルが高かったが、「国際的なゲームに出場する」という普通ではできない経験をしました」と話す。「歩けるようになったからボールを蹴っていたみたいですね。安藤さんのサッカー人生は、物心ついたときには始まっていた。小学校の時は少年団(化学類)

# ズブズブ

## 駐車違反

駐車場のゲート化、有料化が検討されている。だが、広聴会などでは利用者から「取り締まりをもっと厳しくするべきだ」という声も相次いだ。

昨年十一月の広聴会で反対意見書を提出した工学基礎学類は、今年二月から三学駐車場「写真」で自主的にパトロールを始めた。学生担当委員の小林正美助教(物質工学系)の発案で、教員五人が有志として協力している。

「駐車場問題は、もともと利用者のマナーの問題。違反を少しでもなくしたい」と小林助教は意気込む。当初はゲート化反対の意向を前面に出していたが、現在は「ゲート化への動きはどうしようもない。それと違つて、次元的に、その改善を目指したい」と方針を変えている。

違反車には、学生便覧に掲載されている「筑波大学構内駐車違反車両取扱要領」のコピーを張り、「一人一人にもっと罰則について知ってもらいたい」との発想からだ。

困難もつきまとう。大抵の教員が平日の昼休みなどしかできないので、およそ八百台分のスペースを回ることができない。持ち主に見つかり、なぜ自分だけ張られるんだ」と言われることもある。パトロールで、教員たちが実感したのは劣悪な駐車マナーだった。自由駐車場の場合、入構証を正しく表示しない車が半数を上るといふ。小林助教は、三十枚くらい紙を持っていても、

一列(約五十台)だけで無くなってしまつ」とぼやく。

一方で、大学の取り締まりが不十分な実態も浮き彫りになった。違反車を見つけても、警告書はあまり張られていない」といのが教員たちの一致した印象だ。有志の一人、中村潤助教(物質工学系)は「ルール違反をする学生を取り締まるのは、大学の義務だ」と警備の強化を訴える。

大学も手は打っている。違反車の取り締まりは、警備会社「ライジングサン」に委託している。四人の専門員が時間の許す限り構内を巡回する。その日の状況にもよるが、一日に三〜六回ほど回り、違反車を取り締まる。

四人は少ないようにも思えるが、経理部管財課の鈴木孝幸・管財第三係長は「予算の都合上こればかりに人数を割いては行かない」と話す。今後は、常習違反車のデータを電子化し、すぐに施錠できるようにするなど、作業の効率化で対応していく方針だ。

専門員以外の警備員が取り締まりに当たる場合もある。とくに三学駐車場では警備員が専門員と協力し、月三回、集中的に取り締まりを行う。

昨年度の取り締まりは、警告書が約一万二千七百三十八台、施錠が七百六十一台だった。このうち三学駐車場は、二月までの時点でそれぞれ二千二百三十七台、二百七十七台。どちらも地区別では最も多い。しかし、三学警備員によると、雨の日には警備室に「ロックして下さい」と苦情が相次ぐという。全ての違反車に手が回らない実態がこころがえらる。警備員にとって違反車の取り締まりは本来の職務ではない。ライジングサンの北條務室長は個人的意見としながらも、不審者の発見などが本来の職務違反の取り締まりを任せられるのは心外な部分もある」と言ふ。

工学基礎の自主パトロールは今年度も続けられている。だが、違反を防止していくには、大学が改めて取り締まりの体制を整えることも必要だ。

(本紙・川崎大輔「社会学類」)

## 工基礎が自主パトロール 大学は取り締まり強化を



五月に入って、毎週水曜日と金曜日の夕方になると、一学の教室で映画が上映されている。映画サークルが新たな活動でも始めたのか……?

実はこれ、田中洋子助教(社会科学系)の授業「欧州経済史」の一環で開かれている映画鑑賞会だ。授業はドイツの社会経済について調べるというもので、映画でさらに理解を深めようという趣向だ。その名も「ドイツを知る映画シリーズ」。

五月二十五日、金曜日六限一〇二〇一教室に足を運ぶ。真暗の階段教室で、雰囲気は映画館そのもの。机があるのと、画面が小さいのがやや気になる程度だ。

今回の映画は「ブリキの太鼓」。ギンター・グラスの小説を映画化したもので、第一次世界大戦後の疲弊しきつたドイツ社会をモチーフにした作品だ。

私は映画に明るい方ではない。先生は「ドイツの映画はどれも隠喩的、観念論的であり、かなり面白い」と評する。確かに大鼓だけをたたく奇妙な子どもが主役となっているところを見ると、ハリウッド映画でよく言われるような単純な勧善懲悪のイメージとは違つたのももしい。

あたりを見ると、百五十人ほど収容できる教室に、十人くらいしか座っていない。こんな時間帯に映画を見ている私……「暇人」?

(製鉄業界に再編の風)

## 映画上映会

五月二十一日から大学会館別館ホールで、芸術専門学群の二年生有志による作品展が行われた。その名も「甘党」。ホール前に貼られたおびただしい数のポスターに目を奪われた人も少なくないだろう。私もその一人で、かなり気になってしまった。会場のオーラに引き寄せられるように好奇心も手伝って中をのぞいてみた。

会場内に展示された作品の数々は、それぞれ全く違った形がとられていた。映像であ

## ドイツ映画を味わおう

今回の映画は「ブリキの太鼓」。ギンター・グラスの小説を映画化したもので、第一次世界大戦後の疲弊しきつたドイツ社会をモチーフにした作品だ。

私は映画に明るい方ではない。先生は「ドイツの映画はどれも隠喩的、観念論的であり、かなり面白い」と評する。確かに大鼓だけをたたく奇妙な子どもが主役となっているところを見ると、ハリウッド映画でよく言われるような単純な勧善懲悪のイメージとは違つたのももしい。

あたりを見ると、百五十人ほど収容できる教室に、十人くらいしか座っていない。こんな時間帯に映画を見ている私……「暇人」?

(製鉄業界に再編の風)

## 芸術作品展

五月二十一日から大学会館別館ホールで、芸術専門学群の二年生有志による作品展が行われた。その名も「甘党」。ホール前に貼られたおびただしい数のポスターに目を奪われた人も少なくないだろう。私もその一人で、かなり気になってしまった。会場のオーラに引き寄せられるように好奇心も手伝って中をのぞいてみた。

会場内に展示された作品の数々は、それぞれ全く違った形がとられていた。映像であ

## ものづくりパワーに興奮

六月二日、快晴。前夜は深夜一時くらいまで練習をしたので大層眠い。コンビニで買った朝飯をさわやかに外で食べる。今日は三週間の練習の成果が出せたらいいなと思う。

午前中にリハーサルがあった。ネタばらしをしないとこころが普通だが、我々は全部演じきる。他の学類の人たちもノッてくれたので、ひそかにほくそ笑む。後は本番を待つのみ!

午後五時ごろ、ほぼ全員のゆかこん嬢が集まり、ボランティアのおぼちゃん二人にゆかたの着付けをしてもらう。ゆかたを着るとやっぱり気分が違う。自然と内股で歩いている自分に気付く。髪も急ぎよ友達に上げてもらい、たいそう満悦な私。

そんなこんなでとうとう本番。曲が計画通り流れない……。私がマイクの操作を間違つたというハプニングがあったものの、めげずに一杯踊りきった。途中で歓声が上がったときは、あまりの嬉しさに踊りを間違えてしまった。どんな顔で何をしたらいいのか、実は全然覚えていない。終わった後はどがからだった。

## ゆかこん嬢

六月二日、快晴。前夜は深夜一時くらいまで練習をしたので大層眠い。コンビニで買った朝飯をさわやかに外で食べる。今日は三週間の練習の成果が出せたらいいなと思う。

午前中にリハーサルがあった。ネタばらしをしないとこころが普通だが、我々は全部演じきる。他の学類の人たちもノッてくれたので、ひそかにほくそ笑む。後は本番を待つのみ!

午後五時ごろ、ほぼ全員のゆかこん嬢が集まり、ボランティアのおぼちゃん二人にゆかたの着付けをしてもらう。ゆかたを着るとやっぱり気分が違う。自然と内股で歩いている自分に気付く。髪も急ぎよ友達に上げてもらい、たいそう満悦な私。

そんなこんなでとうとう本番。曲が計画通り流れない……。私がマイクの操作を間違つたというハプニングがあったものの、めげずに一杯踊りきった。途中で歓声が上がったときは、あまりの嬉しさに踊りを間違えてしまった。どんな顔で何をしたらいいのか、実は全然覚えていない。終わった後はどがからだった。

## 幼児虐待?

六月二、三日の両日、一年生の私にとっては初めてのやどかり祭があった。「そんなに盛り上がるのかな」と思っていたけれど、まさかここまですごいとは思わなかった。

まずおみこしについて。我が社のおみこしはスコップ、なにかスコップかという。まずはその盛り上がりよう。「社会学、社会学」と叫んだり、おみこしをかついだまま走りたりと本当に楽しかった。それからデザインもスコップ。おみこしの側面に書かれ

## やどかり祭

六月二、三日の両日、一年生の私にとっては初めてのやどかり祭があった。「そんなに盛り上がるのかな」と思っていたけれど、まさかここまですごいとは思わなかった。

まずおみこしについて。我が社のおみこしはスコップ、なにかスコップかという。まずはその盛り上がりよう。「社会学、社会学」と叫んだり、おみこしをかついだまま走りたりと本当に楽しかった。それからデザインもスコップ。おみこしの側面に書かれ

## 「内閣みこし」支持率かつぐ

た小泉首相と眞紀子外相の顔がそっくり。さらに上にのつた国会議事堂も超リアルだった。約一月間の準備にはきつい仕事もあったけれど、社会学のみんなで楽しみなながらやつたから、全苦にならなかつた。

ゆかこんはさらに盛り上がり、感動した。クラスの模擬店では、焼きおにぎりを作つた。誰も買ってくれないのではないかと心配だったが、みんな協力してなんとか売完できた。はじけまくつたやどかり祭は、忘れられない最高の思い出になった。

(慎之助)



紹介する話題をこのコーナーの投稿を大面く送ってくださる。あなたの周りから、本紙へ送ってくださる。あなたの周りから、本紙へ送ってくださる。あなたの周りから、本紙へ送ってくださる。

## 個性派賞もらっちゃいました!



しかし、まさか個性派賞をいただけるとは思わなかった。発表されたとき、思わず「メートルくらい(私の跳んだ感じでは)跳び上がった。そして副賞はなぜか日本酒。こんなすこいものをももらっているのじゃあか。

やどかり祭が終わつた後で、比文の仲間が生まれて初めて胸上げをしてみよう。空中にふわふわと浮いたときの気分は最高だった。この気分を味わったのは、比文のみならず、手伝ってくれた皆さんの人々のおかげである。この場を借りて、厚く御礼を申しあげます。

(郁美ちゃん)



これが社学のみこしだ!

## 立川国際芸術祭2001

Tachikawa International Art Festival 2001

日時: 10月27日(土)から2週間  
場所: 東京都立川市市内(ファール立川) 昭和記念公園  
世界36カ国のアーティスト92人による109の作品が街に点在するファール立川。アートピクニック(運動会)、映像祭、ショーウィンドウ展示などを通して国際交流してみませんか?  
連絡先: 090-6117-9554(鈴木) s990494@ipe.tsukuba.ac.jp

## スタッフ募集

Date: 2weeks since 27th. October 2001  
Place: Tachikawa-city in Tokyo National Syowa Kinen Park  
In Tachikawa-city, Faret Tachikawa art Project was realized in corporation of 92 artists from 36 countries all around the world. We are planning to hold "Art Picnic", a event like sports festival called "Undokai" in Japan, "Film Festival", exhibition and so on. If you're interested in event planning, call us!!  
Asuka Yamazaki 090-9387-5148 s990536@ipe.tsukuba.ac.jp

## ESSミュージカルセクション春公演 The Sound Of Music

日時: 6月13日(水)  
開場 16:30 開演 17:00  
場所: 大学会館小ホール 入場無料  
練習の成果をぜひ見に来て下さい。  
メンバー、スタッフ募集中!  
連絡先: 070-5012-1447(松本) http://ess-musical.hoops.ne.jp



# 第27回宿舎祭 あふれる熱気 宿舎をつつむ

## 御輿の迫力 観客圧倒 ゆかコン、国際がV

「まつりまくれ」をテーマに六月一、二の両日、やどかり祭が開催された。宿舎中に響き渡る太鼓演奏で幕を開けた祭は、新企画の「クイズ1/2の選択」から、おなじみ「ゆかたコンテスト」まで、全十三企画が大盛況のうちに終わった。エンディングでは、参加者が「やどかり音頭」を繰り返し踊り、祭の余韻を味わっていた。(本紙・丹野直美「人文学類、阿部智浩・時田備憲」社会学類、望月和美「比較文化学類」)



### 前夜祭

午後五時から一矢で、五時四十分から平砂で始まった太鼓の演奏とともに、第二十七回やどかり祭の前夜祭は幕を開けた。



### 本祭

最高気温 六度の初夏を感じさせる日差しの中、やどかり祭二日目の本祭は開幕した。

午後六時過ぎに始まった追越から平砂までのサンパレードは最高潮に達した。特に社会学類は、揃いのほっぴを着て最前列に並び、水鉄砲を片手に「社会学、社会学」を連呼し、これに応援団桐葉などの団体が加わって、祭のムードを盛り上げるのに一役買った。

### 模擬店で血回収

今回も、昨年と同様に容器のデポジット制が採用された。使用した容器を返却すれば五十円が戻る仕組みで、各模擬店の出店団体が血の洗浄や運搬に協力した。

### 地域交流の企画も

平砂四号棟と六号棟の間の広場では、午前十一時から毎年恒例の「ここにランド」が行われた。これは地域の子どもたちを対象としたもので、「ストラックアウト」や「やどかり君を捜せ」などの企画が催された。

### 前夜に「翔」の文字

平砂四号棟と六号棟の間の広場では、ピアガーデンが開かれ、学生はもろろん地域の市民の来客者も多かった。Jazz愛好会の演奏が流れる会場では、富江伸治副学長が姿を見せ、「もともとジャズが好きで、去年も来た。毎年前夜祭は幕を開けた。」

「これは地域の子どもたちを対象としたもので、「ストラックアウト」や「やどかり君を捜せ」などの企画が催された。五年ぶりにやどかり祭を訪れた子供連れの夫婦は、「小さな子供が楽しめる企画があるのは嬉しい」と笑顔で話した。



グランプリの松林美乃里さん(国際・左上)、準グランプリの林真紀子さん(芸術・右上)、海老沢朋子さん(工基礎・左下)、個性派賞の廣野郁恵さん(比文・右下)

### 図情大のゆかコン嬢も

今年からの新企画である「クイズ1/2の選択」。会場は平砂駐車場メインステージ前に大勢の参加者が集まり、午後六時、クイズが始まった。予選では「電車の吊革には正式なつかり方がある」という言葉がやどかり祭を象徴しているようだった。

「まつりまくれ」をテーマに六月一、二の両日、やどかり祭が開催された。宿舎中に響き渡る太鼓演奏で幕を開けた祭は、新企画の「クイズ1/2の選択」から、おなじみ「ゆかたコンテスト」まで、全十三企画が大盛況のうちに終わった。

### 御輿大暴れ

やどかり祭恒例のイベントである御輿の練り歩きは、観客の期待が高まる中、午後三時半過ぎに松見公園を出発した。昨年より大盛況の御輿のパフォーマンス(写真は情報学類の御輿)も四団体多い十三団

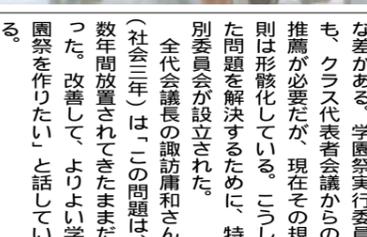
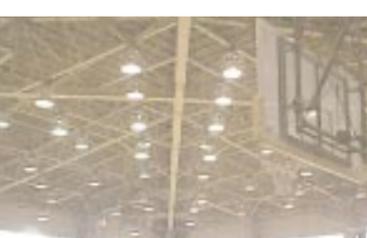
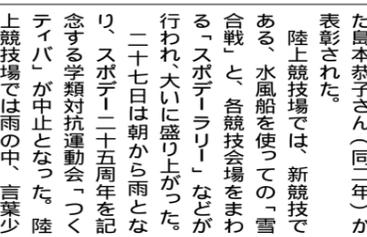
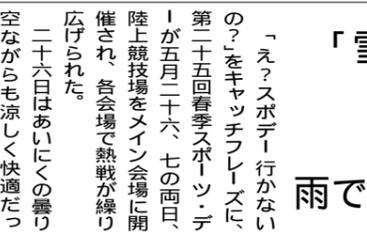
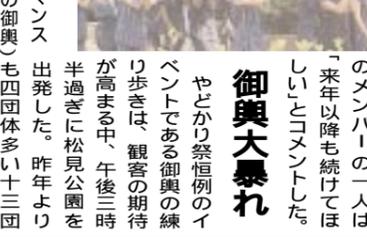
### 「雪合戦」など新競技 春季スポデー 雨で「つくティバ」中止に

「え？ スポデー行かないの？」をキャッチフレーズに、第二十五回春季スポーツイベントは五月二十六、七の両日、陸上競技場をメイン会場に開催され、各会場で熱戦が繰り広げられた。

### 全代会・学実委 学生分担金WGを設置

第二回全学学類・専門学群代表者会議が五月二十三日午後、一〇二〇四で行われた。今回は、学内行事専門委員会と学園祭実行委員会から「学園祭学生分担金及び学園祭実

問が次々と出された。これを勝ち抜き、ステージ上で準決勝、決勝を制した優勝者、水野秀一さん(体育三年)には東京デイズ二回ランドのバスケットボールが贈られた。午後七時四十分には、各学類・専門学群代表の一年生女子十五人が出演する「ゆかたコンテスト」が始まった。このメインイベントの開始に先立ち、打ち上げ花火が夜空を彩った。



# Who's Who?



## 法医学者の 三澤章吾さん(元社会医学系教授)

茨城県で二十五年間、千八百体あまりの解剖にメスを握った法医学者が今春、筑波を去った。現在、東京都監察医務院長の三澤章吾さん(元社会医学系教授)だ。三澤さんは一人で県下の司法解剖(犯罪と関わりのある死体の解剖)と行政解剖(犯罪とは関係ないが医師から死体として死亡した死体の解剖)を手がけ、物言わぬ死体の死因を説明してきた。

三澤さんが法医学の教授として本学に赴任したのは、開学から三年目の一九七六年。まだ、附属病院はなく、司法解剖は開業医が診療の片手間に行っていた。「二十八歳と若かったし、警察の信用を得ようと夜中でも現場に行つたよ。死因を断定し、それで警察が動くかどうかが決まるのだから信頼関係を大切にしたい」と振り返る。現場が離れている場合、つくば中央署からヘリコプターで向かったこともある。三澤さんのスケジュールは警察が把握し、携帯電話のない時代から国内どこにいても連絡がつくようになっていた。

### つくばでの解剖は1800体 無念さ残る未解決事件

「教育者としてのチャンスもあると思ったことが法医学を選んだ理由のひとつ。知識や経験は学生にフィードバックするものだから」という三澤さんは、現場に学生とともに向かうこともあった。「実習の履修者は、夜中でも電話あつたがそのうち司法解剖されるのは五十体にも満たない。大抵は、外見だけでは死因を決定できない。人ひとりが亡くなったのに、なぜ亡くなったのか、原因がわからない。これは基本的な人権の問題だ」と言う。

## 夏休み中の図書館 返却は9月3日、14日

夏季休業中(7月3日、8月31日)の附属図書館の開館 中央・体芸図書館

開館	午前9時～午後5時
貸出	午前10時～午後4時
医学図書	午前9時～午後8時
開館	午前10時～午後7時
貸出	午前10時～午後7時
土、日、祝日は閉館	
6月26日から8月17日まで	の間に一般貸出を受けた図書は、返却期間が通常の3週間より延長される。これらの図書の返却日は9月3日から9月14日までの間のいずれかの日(原則として貸出を受けた曜日と同じ曜日)になる。ただし、6月30日(土)と7月1日(日)は夏休みではないため貸出が行われ、両日に貸出を受けた本の返却日は9月3日(月)となる。
返却期限を確認し、延滞のないように注意しよう。不明な点は各館のメインカウンタまで。	



## クリーン・デー

### 6月22日に実施

6月22日の午後1時30分から3時30分にかけて、各学群棟および各学系棟等の周辺でクリーン・デーが実施される。雨天の場合は後日に延期される。

## ベンチャー起業講座を開講

将来ベンチャーを起業したい学生・社会人を対象に、本学企画の「実践的ベンチャー講座」が、7月16、17の2日間、日程は7月16、17の2日間、会場はつくば研究支援センター(つくば市千現)だ。参加費は一般社会人5000円、大学生・大学院生2500円(要予約)。

## DOO-WOP薬害ヤコブ支援コンサート

日時: 6月17日(日) 開場 14:30 開演 15:00  
場所: 春日公民館  
この世の中には薬害という不正が存在し、現実にそれに苦しんでいる人がいます。ヤコブについてのお話と、アカペラをおきき下さい。皆様のご来場をお待ちしています。  
連絡先: 090-2563-9432 (本山)

次号は  
**9月10日(月)**  
発行予定です

7月7日(日) 5001-5005  
7月7日(日) 5001-5005  
8時30分開場、7時00分開演  
演出: 藤又 壮太郎(新人)  
連絡先: 090-8317-8558(雑用)

**キネカ筑波** 52-2145  
http://www.interspace.co.jp/kineca/

『ハムナプトラ2 黄金のピラミッド』  
11:00～、13:30～、16:00～、18:30～、21:00～(土曜レイト)  
《6月29日(金)まで》  
『デンジャラス・ビューティー』  
11:15～、13:45～、16:15～、18:45～、21:15～(土曜レイト)  
6月19日(火)は休館となります。  
《6月30日(土)～》  
『A.I.』  
監督: スティーブン・スピルバーグ  
制作: スタンリー・キューブリック  
主演: ハーレイ・ジョエル・オスメント

**シネプレックスつくば** 39-5600  
http://www.cineplex.co.jp

《6月15日(金)まで》  
『ハムナプトラ2 黄金のピラミッド』  
10:30～、12:15～、13:15～、15:00～、16:00～、17:45～、18:45～、21:15～、21:40～  
『初恋のきた道』  
10:15～、14:45～  
『誘拐犯』  
10:05～、14:35～、19:00～  
『マレーナ』  
12:35～、17:00～、21:30～  
『15ミニッツ』  
10:30～、15:50～  
『ザ・ダイバー』  
13:10～、18:25～、21:10～

**TSUKUBA INFORMATION OF CULTURE**

『みんなのいえ』  
10:20～、12:45～、15:10～、20:50～  
『トラフィック』  
17:40～  
『メガロポリス』  
10:00～、12:15～  
『JSA 共同警備区域JSA』  
14:35～、16:55～、21:45～  
『ハンニバル』 R-15  
19:00～  
『ホテル』  
10:00～、12:20～、14:45～、17:10～  
『アメリカン・サイコ』 R-15  
16:45～、19:30～、21:50～  
『デンジャラス・ビューティー』  
10:05～、12:25～、19:00～、21:20～

**つくば美術館** 56-3711

水彩画の仲間達展 内容=水彩画  
6月12日(火)～6月17日(日) 無料  
第5回紫流会書作展 内容=書  
拓本・七宝夫婦展 内容=拓本・七宝  
6月19日(火)～6月24日(日) 無料  
フォトサークル土浦作品展 内容=写真  
写真集団ピン歩気「魅せられて」 内容=写真  
6月26日(火)～7月1日(日) 無料

**ノバホール** 52-5881

筑波大学ピアノ愛好会15周年記念演奏会  
6月16日(土) 13:30～ 無料  
創立25周年記念  
土浦交響楽団第43回定期演奏会  
6月17日(日) 14:30～  
前売り 一般 700円 高校生以下 500円  
当日各100円増  
池亀典保バレエスタジオ第11回発表会  
6月24日(日) 14:00～ 無料  
ヴェルディ没後100年記念  
つくばフィルハーモニー合唱団第27回演奏会  
6月30日(土) 18:30～  
前売り 一般 3800円 学生 2000円  
当日各500円増 身障者席 1000円

**つくばカピオ** 51-2886

【ホール】  
中国民族音楽の夕べ 二胡・揚琴・笙の競演  
6月14日(木) 19:00～  
前売り 3500円 当日 4000円 全自由席  
ヴァイオリン・ピアノ発表会  
6月17日(日) 14:00～ 無料  
中山陽子ピアノ教室発表会  
6月30日(土) 14:00～ 無料

【アリーナ】  
2001年第25回東日本県別対抗アマチュア  
競技ダンスフェスティバルチームマッチ茨城大会  
6月24日(日) 9:00～  
アリーナ席 12000円 A席 9000円  
B席 8000円 自由席 3000円